

# 2019年度 Aセメスター 授業時間割

相関基礎科学系 (B, C, D1, D2グループ)

	1限 (8:30~10:15)	2限 (10:25~12:10)	3限 (13:00~14:45)	4限 (14:55~16:40)	5限 (16:50~18:35)
月			1470A [16-827] 情報と計算の物理 福島 孝治	1310A・1320A [16-827] 相関基礎科学演習 I・II	
火		0970A [16-119] 量子力学G II 加藤 雄介	0510A [16-827] 物質機能解析学 I 増田 茂・角野浩史	0560A [16-827] 分子機能学 I 寺尾 潤・小島達央	
水		0370A [16-119] 凝縮系の物性 I 前田 京剛			
木		0310A [16-827] 物性理論 堀田 知佐			
金		0400A [16-827] 凝縮系の物性 IV 深津 晋	0220A [16-827] 場の量子論 II 菊川 芳夫	0340A [16-827] 数理物理学 國場 敦夫	

- ・「量子力学G II」は統合自然科学科「量子力学Ⅲ」との合併講義である。
- ・「物質機能解析学 I」は、統合自然科学科「物質基礎科学特論Ⅲ」との合併講義である。
- ・「凝縮系の物性 I」は統合自然科学科「物性物理学Ⅱ」との合併講義である。
- 基礎科学科、統合自然科学科でこれらの科目の単位を修得している学生は、聴講しても大学院の単位としては認定されない。
- ・「場の量子論Ⅱ」は理学系研究科物理学専攻「場の量子論特論」(22年度までは「場の量子論ⅡA」、23~25年度は「素粒子論特論」との合併講義である。
- 理学系研究科物理学専攻で単位を既に修得している学生は、「場の量子論Ⅱ」を聴講しても総合文化研究科の単位としては認定されない。
- ・次の科目を集中講義として実施する。詳細は、後日掲示等により周知する。
- 「相関基礎科学特殊講義Ⅵ(中尾 裕也)」「相関基礎科学特殊講義Ⅶ(古田 健也)」「相関基礎科学特殊講義Ⅸ(安田 正美)」「相関基礎科学特殊講義Ⅺ(鎌田 慶吾)」「理論物理学特論(奥山 和美)」
- ・時間割番号(左上の数字)は、修士31M283-×××××、博士31D283-×××××となる。